

## 令和2年度決算に対する各会派の意見

### 政友会

令和2年度一般会計の歳入額は678億4,700万円（前年対比166億100万円増）、実質収支は20億2,400万円の黒字で財政の判断基準は健全といえる。今後もきめ細やかな新型コロナウイルス感染症対策をして、ポストコロナに向け持続可能な行政運営を期待する。

渡邊 澄夫      佐藤 泉  
大島 信夫      鈴木 務  
小森谷博之    鈴木 隆

### 古河市公明党

新型コロナウイルス感染症の影響から、法人市民税の減収や国庫支出金の大幅増など、前年度とは比較できない環境の中、一般会計の実質収支は20億2,400万円の黒字である。また、実質公債費比率、将来負担比率ともに健全段階を維持しており、財政の健全化は順調と言える。

高橋 秀彰      佐藤 稔  
轟見久美子    渡辺 松男

### 真政会

令和2年度の決算状況については、おおむね的確な予算執行が行われていた。新型コロナ対策として、国からの定額給付金があったが、今後はさらに国・県の動向に注視するとともに、自主財源の確保に向けた、積極的な事業の展開に取り組んでいただきたい。

黒川 輝男      赤坂 育男  
青木 和夫      稲葉 貴大  
園部 増治

### 市民ベースの会

歳出は地方創生臨時交付金を投入したコロナ対策事業支出の割合が大きく、歳入では収入未済の割合が高い。未納者に対し制度適用の説明や納付理解を求め、督促や催告により時効成立が生じない徴収が一層課題である。新年度予算編成にあたり検討いただきたい。

落合 康之      増田 悟  
倉持 健一      阿久津佳子  
長浜 音一      生沼 繁

### 会派に属さない議員

令和2年度決算は適正な予算執行であったと考える。上下水道関係の企業債への考え方に改善が必要と感じた。今後の改善を望む。

コロナ感染症対策を優先させた事業見直しを含めた予算執行と評価できる。未来を見据え、柔軟性と透明性のある事業推進を求める。

新型コロナ関係の緊急対策への基金活用は評価するが、企業立地奨励金6億円や県事業の肩代わり、開発優先の決算であり反対する。

小山 高正

古川 一美

秋庭 繁